

1	会議名	令和8年 第7回教育委員会会議 会議録	
2	開催日時	令和8年6月23日（火）午前10時00分～午前11時00分	
3	開催場所	岩国市役所2階 特別会議室	
4	出席委員	教育長 守山 敏晴 委 員 村尾 利勝、渡邊 博明、岡田 淳子、岡崎 陽子	
5	欠席委員	なし	
6	会議出席者	教育次長 : 賀屋 和夫 教育政策課長 : 木原 陽児 教育政策課 英語教育推進室長 : 藤本 佐祐里 学校教育課長 : 井原 哲典 学校教育課主幹 : 松本 哲也 青少年課長 教育センター所長兼務 : 植田 明男 生涯学習課長 中央公民館長兼務 : 河本 葉子 中央図書館長 : 藤中 朗子 科学センター館長 : 大黒屋 誠 由宇支所長 : 山本 英裕 周東支所長 : 中村 洋一 錦支所長 : 常国 良徳 美和支所長 : 藤中 峰雄	
7	会議従事職員	教育政策課 : 山本 祥寛、三浦 裕子	
8	会議録署名委員	渡邊 博明、岡田 淳子	
9	議事日程		
	日程第1	会議録署名委員の指名について	
	日程第2	報告第7号	所管事項について
	日程第3	議案第12号	岩国市社会教育委員の委嘱について
	会議の概要 教育長	・ただいまから、令和8年第7回岩国市教育委員会会議を開会します。 ・はじめに、日程第1 会議録署名委員の指名を行います。本日の会議録署名委員は、渡邊委員と岡田委員にお願いします。 ・本日の議題は、お手元に配布した資料のとおりとなります。 ・それでは、日程第2「報告第7号 所管事項について」を議題といたします。これにつきましては、協議会形式で進めたいと思います。各担当部署から先に配布している行事予定表について、補足又は所管事項に関する懸案事項があれば説明をお願いします。	
	由宇支所長	・5月18日に開催された本年度第1回目の「由宇・モア・大学」ですが、由宇亭拓の輔こと塚田拓司さんをお迎えして落語会を開催したところ、285名のご参加をいただき大変好評でした。3年連続の開催となりますが、講師自らチラシを作製していただいて、事務所や金融機関等に配布していただいており、その効果もあって「由宇・モア・大学」の会員数は243名となり、そのうち103名が当日に会員登録されました。なお、塚田講師は由宇地域協育ネットの会長や山口県教育会由宇支部の支部長も務められており、多大なる貢献をいただいています。	

周東支所長	・本年度第2回目となります「玖珂まち生涯大学」では、この秋NHKのテレビ小説で放映される「ブラッサム」にちなみ、宇野千代顕彰会事務局長の安達尚子さんを講師に迎えて、「宇野千代文学さんぽ」と題し、著書である「残っている話」の中から、川西、玖珂、周東地域について書かれている話や、著書にはない知られざる逸話等について御講演いただきました。 - 当日は会員117名の約75%の方に当たる87名の皆さんが受講し、玖珂、周東といった身近な地域の話に聞き入っていました。
錦支所長	・5月28日に開催した「にしきよろず学問所」の第1回目の講座では、「岩日線の軌跡」と題し、岩国徴古館の濱保さんを講師にお迎えして、岩国における鉄道の歴史と、山陰と山陽を結ぶ岩陽鉄道、旧岩日線の計画から開通までの話をいただきました。 - この計画は、当初、広瀬から萩への鉄道の計画もあったという話もあり、大変興味深い内容であり、非常に楽しい講演となりました。 ・7月から錦ふるさとセンターの大ホールが使用可能となりましたので、7月4日に「七夕コンサート」として榎本まさひろさんの歌謡ショーを開催します。学校が夏休みになりますので、7月、8月は子供たちが参加できる行事を企画していく予定です。 ・8月22日、錦ふるさとセンターにおいて被爆者講演会「被爆ピアノコンサート」を開催します。詳しい内容については、来月に報告します。
美和支所長	・ゴールデンウィーク中の5月4日に、春の羅漢山遠足を実施しました。 - 当日は、留学センターの児童、生徒に加えて、本年度から本郷地区にいられた地域おこし協力隊の方や、交流授業として地元の子供たちも一緒に登山遠足を行いました。また、7月の行事予定として、本郷地区でけん玉教室を開催します。7月に基礎編、9月に検定を予定しています。美和地区においても7月に基礎編、9月に検定を行う予定で、本郷・美和地区で協力して行事を進めていきたいと思ひます。
学校教育課	・5月に開催した16校の小学校の運動会ですが、3日間とも天候に恵まれ子供たちも練習の成果を存分に発揮できたと思ひます。卒業生や地域の方の参加協力も多く、運動会を盛り上げていただきました。各学校への激励訪問ありがとうございました。 ・毎年小学校6年生を対象に行っている「豊かな心を育む音楽鑑賞教室」について、本年度は7月29日に広島交響楽団を招き、オーケストラ鑑賞教室を実施する予定です。
青少年課長	・「岩国市ファミリーピアサロン・つなぐ」は、1年に4回、不登校の子供を持つ保護者を招いての会を開催しています。第1回を5月29日に開催したところ、小学校3名、中学校8名、高校4名の計15名の保護者の方が参加されました。昨年度からこども家庭課が児童育成支援拠点事業として行っている「街かど ap」が麻里布地区にありますが、その事業について相談員に説明に来ていただいて、街かど ap で行われている事業の様子などを説明

生涯学習課長	していただきました。その後のフリートークでは、6月から岩国に新しくできた「フリースクールSUN」の関係者の方にも参加していただき、保護者の方とお話ししていただきました。 ・ 次回は9月18日に予定しています。第2回は中学生の保護者の方が卒業後の進路について気になっておられるとのことで、岩国商業高校東分校の教頭先生に来ていただき、中学校では不登校であった生徒が岩国商業高校に進学して頑張っている様子など、保護者の方に聞いていただく予定です。 ・ 花いっぱいコンクールについて、実施時期を変更して2度目の大会でしたが、学校の部は前年より2校増えて23校、団体の部は前年同様7団体の参加となりました。 本年度は写真展を2か所で開催することとなり、7月7日から13日までは市役所1階の展示スペースで、7月15日から22日までは、6月にリニューアルオープンしたいわくに交流テラスMiraidoで開催する予定です。より多くの市民の方に活動の様子や花壇の写真などを御覧いただき、活動参加への促進を図りたいと考えています。 ・ 中央公民館からです。5月31日に岩国交流テラスMiraidoの落成式のオープニングイベントを開催いたしました。落成式には来賓として教育委員の皆様にも御臨席賜りありがとうございました。午後からの一般市民を対象としたオープニングイベントには、約500人の来場者があり、地域住民の方々をはじめ多くの市民の皆様に施設を見学いただき盛況に終わることができたと感じています。御手元にパンフレットを配布していますが、所属の職員、関係機関に周知いただき積極的に利用いただければと思っています。詳細はホームページに掲載していますので、そちらを御覧ください。 ・ 7月の行事予定ですが、夏休み期間に入るので各支所や分館において小学生を対象とした様々な講座を計画しています。今回3回目の開催となる幼児保護者を対象とした夏休みキッズフェスタを7月25日にいわくに交流テラスMiraidoで開催いたします。今年はMiraidoオープン記念として、県内在住のマジシャンである高重翔さんのマジックショーとマジック大会を開催する予定です。Miraidoと公民館が実施する、初の大規模イベントとなります。安全管理をしっかりと行いながら、実施したいと思います。
中央図書館長	・ 昨年度実施したアンケート結果をホームページに掲載しています。その結果を踏まえ、中央図書館の平日の開館時間を7月から9月までの3か月間、現行より30分早めて9時30分に変更する予定です。
科学センター館長	・ 5月2日に「アニメの世界を本気で検証 柳田理科雄の空想科学サイエンスショー」を開催いたしました。予約席200席の他に、当日席300席を用意しましたが、開演の2時間以上前から並ばれる方もおられ、開演前には当日席はほぼ満席となりました。講演では、来場した子供の年齢に合わせた話をされ、絶えず子供たちの笑いが起こり、風船を使ったサイエンスショーで

教育政策課長	も多くの子供たちをステージにあげて、一緒に静電気の実験をされました。 ・来月4日には、山口県出身で株式会社セガの技術支援を統括するCTO矢儀篤樹さんの講演会、20日にはかず先生のサイエンスショーを予定しています。 ・7月22日水曜日に開催されます、イングリッシュクラブについて御説明させていただきます。 イングリッシュクラブは岩国高校附属中学校で実施し、附属中の1年生が午前、午後とそれぞれ30名ずつ、計60名が参加する予定となっています。 英語を勉強としてだけでなく、コミュニケーションの道具として使える場を作ることとし、実際に英語を使う経験を通して、生徒の意欲や自信を伸ばしていくことを目的としています。 この企画は、岩国高校附属中学校の先生からの要望をきっかけに実施するもので、今回初めて、市内の小中学校に勤務しているALTの先生と岩国高校附属中学校のALTの先生が共同して、運営いたします。 当日の活動では、少人数のグループごとに分かれ、その中にALTの先生が1人、ファシリテーターとして入り、生徒が場面や状況に応じて、英語を使う経験を提供いたします。 また、英語で伝える力を伸ばすために、英語でのやりとりをサポートしていただく予定としています。 なお、夏休み中の自習の場として、PLATABCを是非活用いただけるように、その周知も兼ねて実施する予定です。
教育長 村尾委員	・全体を通して御意見、御質問がありましたらお願いします。 ・生涯学習課にお聞きします。「花いっぱいコンクール」について、昨年度から参加校が増えることを期待して、時期をずらしましたが、参加校は増えましたか。学校教育の中で花壇経営は、必須であると考えます。PTAも予算を取って、肥料や種代に使っています。コンクールに参加をするのは容易で、花壇経営に長けた人と長けてない人がいらっしゃるのでは、その違いだけではないかと思います。
生涯学習課長	・参加校は、21校から2校増えて23校になりました。緩やかですが、少しずつ増えればと考えています。種代に関しては、農林振興課の「緑の募金」で、花壇作りのための苗や土代の補助とし、各学校に予算をお渡ししていますので、活用してもらって、参加校が増えればと思います。
村尾委員	・参加することに意義があるので、どの学校にも参加して欲しいと思います。また、コンクールでの審査の視点をある程度明らかにすると、花壇経営の目安になるのではないかと思います。
生涯学習課長	・審査の際は、花壇の出来栄だけでなく、地域や子供と一緒に花壇作りをしているといった経緯についても見ているところです。
村尾委員	・学校では、子供と一緒に先生も花壇経営をしています。審査内容も、ある程度は明らかにしたほうが参加しやすいのではないかと思います。

	・もう一点、青少年課にお聞きします。「ファミリーピアサロン・つなぐ」に高校生の保護者が参加されていますが、これは不登校の高校生の御家族ですか。
青少年課長	・中学生の時は不登校で、のちに高校に進学された方の御家族が、進んで参加してくださっています。
村尾委員	・その方たちに案内を出されたのですか。
青少年課長	・昔から参加して下さっている方や、もちろんホームページ等でも告知はしていますので、それを見て申し込んでいただいています。
村尾委員	・素晴らしいことですね。横の連携が非常に取れて、経験者の話を聞くことによって、知見を広げるのは大切であろうと思います。 今後とも、よろしくお願いします。
渡邊委員	・先日、私が行かせていただいた2校の小学校の運動会ですが、いずれも、小学校の運動会に中学生が運営の手伝いをしている姿が見られました。 1校の方は、準備や運動会が終わった後のテントの撤収、片付けにおいて中学生が関わっていて、とてもよい連携が見られました。 その姿を見ている小学生たちが中学生に憧れる姿はすごくいいなと思いました。このような取組が広がっていけばよいと思いました。 ・今、ある小学校で、ヤスデという虫が大量発生しているということです。 ヤスデはムカデとは違って、刺したり、毒を持っていたりはないらしいのですが、触ると悪臭を放つらしいです。学校側で、対策として薬剤等を散布する等されていると思いますが、この薬剤等が子供たちに影響がないようにしてもらえたらと思います。ほかにも虫だけでなく、いろいろあると思いますが、危機対策として、この間は熊が学校から700メートル先の街中に出てきているということもありました。 ・そういった危険な情報、虫の大量発生の情報などは学校だけでなく、公民館などでもあると思います。学校側、出張所側で連絡連携を密にし、情報共有して一緒に対策していただきたいと思います。 ・学校開放の件ですが、今、中学生のクラブの地域展開が進んでいると思われます。学校施設を利用した民間の使用ですが、学校によっては指定管理団体的に、民間の方が学校の体育館・運動場等を管理して運営しているところもあると思われます。話によると、まだ先生方が管理をされている学校もあると聞いたことがあります。 学校体育施設開放運営委員会がどこにもあればいいのですが、再度確認していただきたいのは、今までは学校開放の時間帯も、午後5時から9時までという形でやってるところもあるかもしれませんが、中には、午後7時から9時までの間しか運営していないところもあります。その辺り、各学校での学校開放管理の仕方等の確認と、先生方の仕事が増えていくことになってしまうと思うので、できれば、市が主導して民間の方で運営する等、方針を切り換えていくようにしていただければと思います。

村尾委員 渡邊委員 村尾委員 渡邊委員	・この秋、朝のNHK連続テレビ小説で宇野千代のドラマが始まりますが、日本全国に広まっていく中で、県でいう山口プライド、岩国でいう岩国プライド、錦帯橋の世界遺産登録に向けて、放送に合わせて何か同時に行うというようなことを考えているかを学校側にお尋ねしたい。 ・PLAT ABC の夏休みの取組で、7 月には子供たちにとってよい交流の場が企画されていますが、8 月も何か大きいイベントや市民向け大人向けの英語交流イベントなどが企画されているかを質問いたします。 ・虫は校舎内に入るのですか。 ・いえ、外の土と校舎の壁際などです。 ・ヤスデは畑に多い、腐葉土を食べる。別にいてもいいのでは。 ・10 匹ぐらいならいいですが、何百匹もいるので、害のないように対応をお願いします。
教育長	・部活動の地域展開の担当課は文化スポーツ振興部になると思われる。学校教育課で確認をしてもらえれば。
渡邊委員	・地域展開の団体が学校を活用したい時、総合体育館など指定管理のある所などは問題ないが、学校の施設を利用するとなると学校によって担当している方々など色々なケースがあると思うので、確認して受入態勢をしっかりとしていきたい。
教育次長 渡邊委員	・確認というのは、市内全体の話ということでよろしいか。 ・はい、例えば川下中学校の学校開放は 19 時から 21 時までの間は運営委員会が立ち上がっているので運営していますが、地域移行となると 17 時からとなる。
学校教育課長	そこで、川下中学校では校長先生を交えて運営委員会の方と一緒にやっている。早めに他の学校もそういった運営がしっかりとできているといい。 ・学校教育課です。今、学校地域の人材であったり地域で活躍した方を取り上げて授業をしたり、それぞれの学校で行っていますので、実際、宇野千代さんを取り上げて単元を作っていこう、教材開発していこうというのは、直接聞いてはいませんが、テレビで取り上げられることもあり、錦帯橋を含めた教材研究であったり、宇野千代さんを取り上げた授業であったり、宇野千代さんについての調べ学習をしたりという学校が増えてくるのではないかとと思っています。
渡邊委員 学校教育課長	・今のところは、各学校に任せているのですか。 ・そうですね。先日、川下小学校に宇野千代さんが教員として勤められていたという沿革史も見せていただいて、実際に直筆で書かれた履歴書を拝見しました。この後は徴古館に展示する予定とのことで、地域にもそういったものを公開するような、学校発信といいますか、何かしら学校の方で主体的に考えていただけるのではと思っています。
青少年課長	・補足ですが、1 学期に学校訪問に私も同行させていただき、たくさんの学校へ行きました。今、県教委が言っている山口プライドになぞらえて、まずは

英語教育推進室長	やっぱり岩国プライド、川下であれば川下プライド、由宇なら由宇プライド、やはり自分が住んでいる地域に誇りを持って、いずれは自分の地元に帰ってきたい、そういった学校運営をどの学校もしていच्छるのは、学校訪問に行くとはすごく感じます。 そういった意味で、やはり地元に愛着を持つ子供たちが増えて欲しいという校長先生をはじめ、先生方の思いが伝わってくるような学校がたくさんあるように感じました。
渡邊委員	・ 7月の行事予定にもありますが、夏休みに入る関係で「イングリッシュチャレンジ」として、午前中は小学生、午後は中高生を対象に英語交流センター、周東総合支所、由宇文化会館、8月3日は錦ふるさとセンターで「イングリッシュチャレンジ」を行います。昨年は中学生の集まりが悪かったので、今年は高校生も一緒に募集をかけて、中高生には英語試験の対策ができるようなメニューもチラシ等で周知したいと思っています。 ・ 7月のイベントですが、昨年、中央図書館で国際交流ライブラリーとして日米の中高生を招待し、イベントを行いました。今年も8月8日土曜日に中央図書館で行う予定です。そのほか、「英語でプログラミング」、今年初めて「英語でモルック」をいわくに交流テラスM i r a i d oで行う予定です。
岡崎委員	・ せっかく夏休み中の7月に小中高の皆さんが来るので、8月も盛り上げてもらえればと思います。大人向けにも何かあれば教えてください。 ・ 青少年課のピアサロンについてですが、不登校の子供を持つ保護者を支えるとても素敵な活動で、ありがたいと思っています。感想などを見ても保護者の方に良い影響を与え、力になっていると感じます。保護者の方の変化というか、実際、子供に対してよい影響があったというような話があればお聞きしたいです。
青少年課長	・ 一例を挙げると、昨年度、支援教室に通われていた中学生が、9月の体育祭で中学校に入学してから初めて救護テントで見ることができたということがありました。少し良くなっていったかなと思いきや、体育祭が終わって、なかなか学校まで足が向かず、また学校から少し足が離れてしまって、なおかつ支援教室にもなかなか通えなくなってしまった生徒がいました。ですが、今年度に入って、支援教室で中間テストを受けることができ、保護者の方も喜ばれていました。なかなかこちらが思っているように右肩上がりです向上していくというのは稀な話で、ちょっと良くなったかなと思えばまた戻ったり、その繰り返しではあるのですが、ある意味、保護者の方が大きく構えてというか、俯瞰しているというか、その目先の一つ一つの細かい出来事にいい意味で一喜一憂せずに、大局的にその子の成長を見守っているというか、そういうお子さんを持つ保護者が多いような感じがしています。特に長期化していけばいくほど、保護者の方も少々のことであんまり動じない、そんな風にも思います。
岡崎委員	・ 良くなったり悪くなったりで、悪くなった時にこういうつながりがあると頑

青少年課長	張って持ちこたえていけるとと思います。これからも頑張ってください。 ・もう1つ報告というか、先日PTA会議があったのですが、子供同士の揉め事から保護者の揉め事に発展し、それを保護者の方が引きずっているという事案を聞きました。そういう話はとても多く、保護者の中にはいつ自分が当事者になるか心配されている方もいます。どのように対応するべきかを研修会などで保護者も考えた方が良いでしょうという問題意識を持っている方もおられます。子供が成長する中で、トラブルやぶつかることは大事なことでと思うので、そこで成長を支える大人の役割を果たせたら良いと思います。 ・本年度も、何件か保護者の方から相談をいただいています。今の話に少し助言できるとすれば、何かあったらとにかく青少年課に相談してもらいたいと思います。 やはり、学校は「失敗が許されるべきところであるべき」だと思っていて、子供同士なので失敗することもあるし、いたずらすることがある。そこをその学校の先生と保護者がどうやってより良い方向に向けていくかということなのですが、むしろ本人同士は割と解決をしているけれども、親同士のわだかまりがなかなか消えないというところは、今年度も何件かあるところです。 ・青少年課には、スクールソーシャルワーカーという方もいますので、例えば、その保護者同士の解決しづらいわだかまりを第三者のスクールソーシャルワーカーが入ることによって、解決へ導いていくということも、私どもはやっています。学校もなかなか保護者同士の間に立ち入れないところもあるので、心配事等がありましたら、青少年課に御相談ください。
岡田委員	・図書館と学校との連携について、私が校長時代に図書館部会と連携して、例えば学校の図書館に、図書館の司書に来ていただいて、ブックトークやビブリオバトルのお手伝いをいただいたということがありました。あの時に、一緒に総合文化祭でビブリオバトルのステージを仕組みました。 その時に図書館の方から手伝いや助言をいただきました。やはり図書館に最初に子供が出向くというのは、その親御さんの気持ちで連れていかれると思います。 ですが、全ての子供たちが公立や私立の小・中学校に入っていくわけです。そう考えると、やっぱり学校と図書館の関係は、もっと綿密にあるべきではないかと思っています。先ほどの、学校のアンケートでは回答率が5割と聞いて少し残念だったのですが、その辺りで、今からの計画などで困っていることがあればお聞きしたいと思います。
中央図書館長	・図書館から学校に向けては、来月、杭名小学校でブックトークの開催を予定しています。今まではこういった働き掛けをしていなかったのですが、今年度からは小中高に設置されている図書館の活用を案内したものの中に、要望があればこちらから出向くという内容を新たに加えて配布しています。学校司書さんとのつながりということで、各図書館部会にも司書が参加して意見交換をしています。

岡田委員	・両方から積極的に手を伸ばしていくことが子供たちの役に立ちますし、この子供たちが全て大人になっていくわけですから、その大人から生まれた子供たちがまた図書館に出向くようになるという学びの好循環を生み出すためにも、そういう動きをしっかりと活性化していただきたいと思います。図書館は知の泉であると思いますし、文化の拠点であると思います。ぜひ今後ともお願いいたします。
教育長	・別にないようでしたら、以上で報告第7号を終わります。 ・次に、日程第3議案第12号「岩国市社会教育委員の委嘱について」を議題といたします。なお、これ以降の日程については、公表までの間、議事については非公開としたいと思いますがいかがでしょうか。
各委員	・異議なし。
教育長	・御異議なしと認め、日程第3以降は非公開といたします。
生涯学習課長	・議案第12号 岩国市社会教育委員の委嘱についてご説明いたします。 本議案は現在委嘱している社会教育委員の任期が、本年6月30日をもって満了することに伴い、社会教育法第15条第1法の規定に基づき候補者名簿の通り15人の方に委嘱するため提案するものです。 15人の内訳ですが、13人の方を再任とし、新たに学校教育関係者として、中学校長会長の五郎丸哲也氏、社会教育関係者として通津中学校区地域協育ネット協議会の地域学校協働活動推進員である竹原京子氏の2名を委嘱しています。 なお、委員の任期は本年7月1日から令和10年6月30日までの2年となります。御審議のほどよろしくお願いいたします。
教育長	・ただ今の説明に御意見、御質問があればお願いします。 ・別にないようでしたら、議案第12号は原案のとおり決することに御異議ありませんか。
各委員	・異議なし。
教育長	・御異議なしと認め、議案第12号は原案の通り決します。 ・本日の議題は以上でございます。
教育政策課長	・次回定例会につきましては、7月22日水曜日、岩国市役所2階、特別会議室において、9時半から所属長会議を、10時から教育委員会会議を開催いたします。
教育長	・ここで皆様に御報告があります。 村尾委員におかれましては、今月27日をもって任期満了のため教育委員を退任されます。教育委員会会議への御出席は、今回が最後になります。 村尾委員、一言御挨拶をお願いいたします。
村尾委員	～村尾委員挨拶～
教育長	・ありがとうございました。 ・以上で、令和8年第7回教育委員会会議を終了します。

岩国市教育委員会会議規則第 16 条の規定により署名する。

教育長 守山 敏晴

教育委員 渡邊 博明

教育委員 岡田 淳子